

鉄道ピクトリアル

2003年2月号 Vol.53 No.2 通巻No.728

<特集> 阪和線

■表紙 紀州路快速・関空快速の223系……………焼田 健

美章園一天王寺 2002-11-30

キヤノンEOS3 EF70-200mmF2.8L 絞りf4 タイム1/500 RDPⅢ+1

■カラー

特集：泉州平野の風(1～5ページ)

……………中村吉晴・和田京太・三島達夫・佐々木晶朗

……………中野 剛・原田卓幸・戸塚光弘・和田康之

思い出の阪和線(6～7ページ)

……………河 昭一郎・和田康之・浜村正弘

戦前の阪和電気鉄道沿線案内図(8ページ)……………所蔵：坂戸直輝

JRグループ2002年12月1日ダイヤ改正……………成田俊之ほか…73

近畿日本鉄道アーバンライナーnext 21020系/JR東日本キハ48形「うみねこ」/JR西日本125系電車/JR西日本100系V 76～80
編成さよなら運転/各地でリバイバル列車運転ほか

■グラフ

阪和線の特急電車……………撮影：長谷川 明…33

旧阪和電気鉄道～南海山手線 社形電車アルバム……………構成：編集部…34

国電博物館と呼ばれた頃の阪和線72系電車……………竹田 辰男…36

阪和線 新性能電車登場の頃……………構成：編集部…40

阪和線懐かしの光景 電気機関車と南紀直通列車……………構成：編集部…42

国鉄当時の阪和線ダイヤを見る……………解説：滝田光雄…44

イタリアの私鉄と路面電車スナップ……………田尻弘行・矢崎康雄…46

下北のキハ85/神戸電鉄の話題……………斎藤幹雄/米倉裕一郎…48

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………81

中京競馬場に保存された名鉄7000系……………白井 良和…88

JR西日本キハ181系“国鉄特急色”秋の話題……………佐々木晶朗…90

D51その一族—1115分の1の素顔—(53)……………構成：編集部…92

思い出の東武日光軌道線……………鈴木 武夫…94

■本文

今月の話題：阪和線……………編集部…9

阪和線の輸送と運転……………高地 明利…10

日根野電車区の概要……………磯貝 太郎…16

阪和線のあゆみ—創業から国鉄時代まで—……………竹田 辰男…20

阪和線 列車運転史—快速列車を中心に—……………寺本 光照…49

天王寺から和歌山へ 阪和線一日探訪記……………根本 幸男…57

*

鉄道の話題……………編集部…32

近畿日本鉄道21020系……………谷 正史…64

連載・パーツ別線路観察学〔2〕……………石本 祐吉…70

東北新幹線 八戸開業に伴うダイヤ改正概要……………太田 雅達…97

東北新幹線 盛岡—八戸間 路線・施設の概要……………安波 盛雄…101

JR北海道789系……………井原 禎之…108

八戸駅が尻内駅だった頃……………中川 浩一…114

書評(471)『これからの都市交通』……………和久田康雄…118

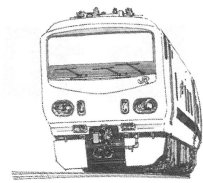
11月のメモ帳……………119

読者短信・情報ファイル……………120

後部車から……………124

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

阪和線

JR西日本による阪和線は天王寺を起点に和歌山に至る61.3kmの路線であり(その他に支線として1.7kmの羽衣線を有する)、JR西日本の京阪神近郊区間「アーバンネットワーク」の一角を担って、大阪都心と大阪市南部および和歌山県を結び、通勤・通学輸送に重要な役割を果たしている。また、阪和線は大阪と紀勢本線をつないで、南紀方面への観光ルートとして機能するとともに、日根野から分岐する関西空港線で関西空港を結ぶ空港アクセスルートとしても大きな使命を担うなど、輸送面において多様な性格を合わせて持っている。こうしたことから、列車密度はきわめて高く、種別も通勤列車の普通・快速から紀勢本線直通の特急、空港アクセス列車などバラエティに富んでいる。

一方、阪和線は歴史的な面において、阪和間の超特急をはじめとした高速運転で知られた阪和電気鉄道を前身とした買収路線であり、鉄道史上の興味は尽きることがなく、昔から話題には事欠かない路線である。今日、阪和線に乗りしてみると、ダイヤ上では民鉄が導入するようなほぼ完全な緩急結合輸送の形態が定着しており、他のJR通勤路線に対し、多くの異色かつ特徴的な雰囲気を見て取ることができる。施設面でも、天王寺近郊で高架化工事が進められているが、沿線には阪和電気鉄道時代の面影もまだたくさん残っており、鉄道史探究の面白味の多さといった点でもJR通勤路線随一と思われる。阪和電気鉄道として1930(昭和5)年の全通以来70年余の歴史に育まれて重要路線に発展した阪和線の今日の姿は、さまざまな魅力に溢れているといえる。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
New Kokusai Bldg., Marunouchi
3-4-1 Chiyodaku, Tokyo/Japan